

【万葉古代学研究所彙報】

平成二十一年度

- 二月 五日 奈良県立医科大学において、寺川眞知夫万葉古代学研究所長（以下、所長と略す）が「古典文学にみえる病氣と治療法」と題して特別講義の講師を務める。
- 二月一三日 JR西日本ステイネーションキャンペーン連携ツアー「谷村新司トーク&ミニライブツアー」の一環として、企画展示室にて「古典籍ミニ展示」を実施。
- 二月一五日 友の会共催「万葉集をよむ」で、竹本晃主任研究員（以下、研究員と略す）が「巻一の世界（下）七八〜八〇番歌」を講義。
- 二月二一日 静岡県袋井市立浅羽郷土資料館講座で、井上さやか主任研究員（以下、研究員と略す）が「袋井市の万葉歌」と題して講演。
- 二月二五日 奈良県庁にて記紀万葉プロジェクト検討委員会が発足。同推進チーム第一回会議に井上研究員が参加。
- 二月二六日 月刊雑誌「TARU―樽―」の特集「平城遷都一三〇〇年―まほろばの国の銘酒」に関して、井上研究員が取材協力（「TARU―樽―」四月号に掲載）。
- 二月二七日 第二次和泉郡研究会で、竹本研究員が「平安前期に

おける和泉国の官田」と題して研究報告。

三月 五日 テレビ番組「おとな旅・あるき旅」に、井上研究員が出演（テレビ大阪にて三月二七日に放送）。

三月 六日 万葉文化館ボランティア研修において、井上研究員が「万葉集の基礎知識」を講義。

三月 七日 万葉文化館ボランティア研修において、竹本研究員と曹咏梅主任研究員（以下、研究員と略す）が実地研修の講師を務める。

三月一五日 友の会共催「万葉集をよむ」で、曹研究員が「巻一の世界（下）八一〜八四番歌」を講義。

三月一八日 第二回記紀万葉プロジェクト推進チーム会議が奈良県文化会館にて開催され、井上研究員が出席。

三月三〇日 NHK文化センター米子支社主催の「奈良県立万葉文化館・奥明日香万葉のたび」において、井上研究員が同題目にて講演。

平成二十二年度

四月 三日 JR西日本ステイネーションキャンペーン・奈良県立万葉文化館友の会主催の『万葉』駅からウォーク（JR長柄駅〜JR天理駅コース）のウォークイベントで、井上研究員が引率講師を務める。

四月 九日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学

特別講義Ⅰー万葉文化論ー」(第一回)を講義。

四月一〇日 J R西日本デスティネーションキャンペーン・奈良

県立万葉文化館友の会主催の『万葉』駅からウォーク」

(J R巻向駅→J R三輪駅コース)のウォークイベントで、曹研究員が引率講師を務める。

トで、曹研究員が引率講師を務める。

四月一六日 平城遷都一三〇〇年記念特別展「シルクロードー奈

良への道 平山郁夫展」に寄せて、ホワイエにて「シ

ルクロードと万葉文化」展を実施(五月三〇日まで)。

奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学

特別講義Ⅰー万葉文化論ー」(第二回)を講義。

四月一七日 J R西日本デスティネーションキャンペーン・奈良

県立万葉文化館友の会主催の『万葉』駅からウォーク」

(J R巻向駅→J R柳本駅コース)のウォークイベントで井上研究員が引率講師を務める。

トで井上研究員が引率講師を務める。

四月一九日 友の会共催「万葉集をよむ」で、井上研究員が「巻

二の世界(上) 八五〇番歌」を講義。

四月二〇日 第三回記紀万葉プロジェクト推進チーム会議が奈良

県庁にて開催され、井上研究員が「記紀万葉の基礎知

識」について講義。

四月二三日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学

特別講義Ⅰー万葉文化論ー」(第三回)を講義。

四月二四日 J R西日本デスティネーションキャンペーン・奈良

県立万葉文化館友の会主催の『万葉』駅からウォーク」

(J R桜井駅発着コース)のウォークイベントで曹研究員が引率講師を務める。

究員が引率講師を務める。

四月二七日 WEBマガジン「トレたび」の取材に、井上研究員

が対応(「トレたび」鉄道おもしろガイドVol. 2

に掲載)。

四月二八日 奈良県知事定例記者会見にて、第二回NARA万葉

世界賞の授賞者を発表。天津師範大学教授・王暁平氏。

五月 七日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学

特別講義Ⅰー万葉文化論ー」(第四回)を講義。

五月 八日 友の会共催「古事記をよむ」で、寺川所長が「古

事記』編纂の目的と序文」を講義。

元興寺で開催された日本インテリアプランナー協会

大会JIPA in 奈良1300において、井上研究員が「万

葉集が語りかけてくる心」と題して講演。

五月一四日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学

特別講義Ⅰー万葉文化論ー」(第五回)を講義。

J R西日本デスティネーションキャンペーン連携

Club DISCOVER WEST・ジパング倶楽部共同企画「奈

良の旅〜古代史の謎と万葉の歴史を尋ねて〜」として、
展示室地下一階にて「古典籍特別公開」を実施。

五月一六日 第五回委託共同研究「万葉の深層を探るエスノアル
ケオロジ―的研究―とくに海洋伝承を中心に―」（代
表・後藤明南山大学教授）の第六回共同研究会を開催。

五月一七日 友の会共催「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「巻
二の世界（上）九一〜九五番歌」を講義。

奈良大学で開催された上代文学会全国大会のエクス
カーションにおいて、井上研究員が引率講師の一人を
務める。

五月一九日 ならどつとFM「県政HOTインフォメーション」
およびFMハイホー「県政ほつとライン」に、井上研
究員が出演。

五月二二日 第六回委託共同研究「『万葉集』と歌木簡―東アジ
アにおける詩歌の場と記録メディアの展開―」（代表・
多田伊織皇學館大学講師・研究員）の第一回共同研究
会を開催。

奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学
特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第六回）を講義。

五月二三日 第三七回万葉古代学研究所講座・平山郁夫展関連特
別講座として、寺川眞知夫所長・同志社女子大学特任

教授が「敦煌と古代日本の仏教伝承」を講義。

教育文化ジャーナル・コリアンワールド主催の東ア
ジア平和友好祭コリアンフェスティバルにおいて、井
上研究員が歴史シンポジウム「日本国家形成と渡来人」
のパネルディスカッションに参加。

五月二六日 第四回記紀万葉プロジェクト推進チーム会議が奈良
県庁にて開催され、井上研究員が出席。

五月二八日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学
特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第七回）を講義。

五月二九日 JR西日本デスティネーションキャンペーン・奈良
県立万葉文化館友の会主催の『万葉』駅からウォーク
（JR香久山駅↓万葉文化館コース）のウォークイベ
ントで、竹本研究員が引率講師を務める。

六月 四日 NARA万葉世界賞関連展示「世界がみた万葉集―
過去・現在、そして未来へ―」をハワイエにて実施（七
月四日まで）。

奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学
特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第八回）を講義。

六月 五日 JR西日本デスティネーションキャンペーン・奈良
県立万葉文化館友の会主催の『万葉』駅からウォーク
（JR金橋駅〜JR畝傍駅コース）のウォークイベント

トで、竹本研究員が解説講師を務める。

六月 八日 J R西日本ステイネーションキャンペーン連携企画で、竹本研究員が「古典籍特別公開」の解説を務める。

六月一〇日 J R西日本ステイネーションキャンペーン連携企画で、井上研究員が「古典籍特別公開」の解説を務める。

六月二一日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第九回）を講義。

六月二二日 J R西日本ステイネーションキャンペーン連携イベントの万葉講座「万葉まほろば線に乗って」で、上

野誠副所長が「故郷となった飛鳥」を、曹研究員が「香山の国見歌」を講演。

六月一八日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一〇回）を講義。

六月一九日 J R西日本ステイネーションキャンペーン連携イベントの万葉講座「万葉まほろば線に乗って」で、寺

川眞知夫所長が「人麻呂の巻向の妻」を、竹本研究員が「海石榴市と大和川」を講演。

六月二二日 友の会共催「万葉集をよむ」で、曹研究員が「巻二の世界（上）九六〜一〇二番歌」を講義。

六月二三日 第五回記紀万葉プロジェクト推進チーム会議が奈良県立図書館にて開催され、井上研究員が出席。

六月二五日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」（第一一回）を講義。

六月二六日 J R西日本ステイネーションキャンペーン連携イベントの万葉講座「万葉まほろば線に乗って」で、中

西進館長が「山村の風景―万葉集から三島由紀夫まで―」を、井上研究員が「万葉揺籃の地―樺本・和爾」

を講演。

六月二七日 奈良県主催の第二回NARA万葉世界賞贈呈式およ

び記念事業を万葉文化館企画展示室にて開催。受賞者の王暁平氏（天津師範大学教授）による受賞記念講演

「万葉集と詩経」、選考委員のドナルド・キーン氏（コロンビア大学名誉教授）による特別講演「万葉集の翻訳」、王暁平氏、ドナルド・キーン氏、ジェニ・ワキ

サカ氏（第一回NARA万葉世界賞受賞者・サンパウロ大学元教授）、中西進万葉文化館長によるパネルディ

スカッション「世界の中の万葉集」などを実施。

六月二九日 奈良県主催の第二回NARA万葉世界賞関連事業を奈良女子大学にて開催。受賞者の王暁平氏（天津師範

大学教授）による特別講座「万葉集とシルクロード」を実施。

七月 二日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学

特別講義「万葉文化論」(第一二回)を講義。

七月 九日 檀原市立中央公民館主催檀原歴史探訪講座「檀原」再発見」で、曹研究員が「万葉集から学ぶ、万葉人の心」と題して講義し、竹本研究員が展示室を案内。

奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」(第一三回)を講義。

七月一〇日 友の会共催「古事記をよむ」で、寺川所長が「神々の出現と国土の生成」を講義。

七月一九日 友の会共催「万葉集をよむ」で、井上研究員が「巻二の世界(上) 一〇三〜一〇四番歌」を講義。

第五回委託共同研究「万葉の深層を探るエスノアルケオロジー的研究」とくに海洋伝承を中心に」(代表・後藤明南山大学教授)の第七回共同研究会を開催。

七月二二日 第六回記紀万葉プロジェクト推進チーム会議が奈良県文化会館にて開催され、井上研究員が出席。

呉玲海外研修員着任。

七月二三日 奈良県立大学において、井上研究員が「地域創造学特別講義Ⅰ―万葉文化論―」(第一四回)を実施。

奈良県立教育研究所主催の「奈良の素材を生かした国語の授業づくり研修講座」において、上野誠副所長が「歴史都市・奈良の歌声―『万葉集』はことばの文

化財―」を、井上研究員が「『万葉集』を学ぶための体験学習に向けて」を講義。

七月三〇日 奈良県教育研究所で平成二十二年度学校教育番組「国語教材」第一回専門委員会を実施。井上研究員、竹本研究員が同専門委員に就任。

夏休み子ども万葉教室で、曹研究員が講師を務める。

七月三二日 夏休み子ども万葉教室で、井上研究員が講師を務める。

八月 一日 夏休み子ども万葉教室で、竹本研究員が講師を務める。

八月二三日 友の会共催「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「巻二の世界(上) 一〇五〜一一〇番歌」を講義。

八月二八〜三〇日 奈良女子大学古代学学術研究センターと共催で、二〇一〇年度若手研究者支援研修プログラム「万葉集原本への道」を開催。

八月二九日 畿央大学の第二回やまとフォーラム公開講座で、曹研究員が「万葉の歌から北葛城を訪ねてみよう」を講義。

九月 二日 第七回記紀万葉プロジェクト推進チーム会議が奈良県庁にて開催され、井上研究員が出席。

九月 四日 友の会共催「古事記をよむ」で、寺川所長が「神々の誕生と黄泉国訪問」を講義。

九月 二日 奈良県教育研究所で、平成二十二年度学校教育番組「国語教材」第二回専門委員会開催。井上研究員と竹本研究員が出席。

九月 二三日 第七十八回奈良県立万葉文化館友の会講座・一三〇〇年ハイク「足で感じる平城京」で、竹本研究員が引率講師を務める。

九月 二七日 友の会共催「万葉集をよむ」で、曹研究員が「巻二の世界（上）一―一―一三番歌」を講義。

九月 二八日 奈良県庁HPコンテンツ「歩くなら」に関して、井上研究員が推薦ルートの作成などに協力（随時更新掲載）。

一〇月 一日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」（第一回）を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」（第一回）を講義。

一〇月 四日 第六回委託共同研究「『万葉集』と歌木簡―東アジアにおける詩歌の場と記録メディアの展開―」（代表・多田伊織皇學館大学講師・研究員）の第二回共同研究会を開催。

一〇月 六日 奈良県教育研究所で、平成二十二年度学校教育番組「国語教材」第三回専門委員会実施。井上研究員が「万葉集の素材（附万葉集と能楽）」について、竹本研究員が「漢文資料の素材提案」についてそれぞれ報告。

一〇月 八日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」（第二回）を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」（第二回）を講義。

一〇月 二日 第三回万葉古代学研究所主宰共同研究「旅と万葉集」の研究発表として、第七回万葉古代学研究所公開シンポジウム「人はなぜ旅をするのか―万葉集と世界の〈旅〉―」を万葉文化館企画展示室にて開催。

寺川眞知夫所長・同志社女子大学特任教授が「旅と万葉集（総括）」を、松尾光万葉古代学研究所名誉研究員・早稲田大学非常勤講師が「駅路の上の人影」を、神崎宣武旅の文化研究所長が「旅は憂いもの―民俗学的な視点から―」を、辰巳正明國學院大學教授が「中国少数民族の死者の旅」を、高橋孝信東京大学大学院教授が「文学と旅―南インド古代の事例から―」を講演し、その後、上野誠万葉古代学研究所副所長・奈良大学教授の司会で講演者および井上研究員、竹本研究員、曹

研究員を交えたシンポジウムを実施。

一〇月一五日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」（第三回）を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学 特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」（第三回）を講義。

一〇月一七日 郵便局株式会社・平城遷都一三〇〇年プロジェクト主催の郵便局のスタンプラリー&ウォーク「上つ道を歩く」で、竹本研究員が引率講師を務める。

一〇月一八日 友の会共催「万葉集をよむ」で、井上研究員が「巻二の世界（上）一―四―一―六番歌」を講義。

一〇月二〇日 奈良県庁において記紀万葉プロジェクト検討委員会および第八回推進チーム会議が開催され、井上研究員が参加。

一〇月二二日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」（第四回）を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学 特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」（第四回）を講義。

一〇月二三日～二五日 東アジア比較文化国際会議日本大会実行委員会（東アジア比較文化国際会議日本本部・社団法人平城遷都一三〇〇年記念事業協会・財団法人奈良県万葉文化振興財団）主催の「東アジア比較文化国際会議

日本大会」を万葉文化館および橿原ロイヤルホテルにて開催。「東アジア世界における新たな文化共同体の構築―日・中・韓の文化に見る普遍性と固有性を廻って―」をメインテーマに、平城遷都一三〇〇年記念特別講演会として、李御寧氏（韓国初代文化相・梨花女子大学教授）が「韓中日文化の接点―文化象徴語を中心に―」を、作家の莫言氏（代表作『紅いコーリャン』など）が「詩人と和尚」を、中西進万葉文化館長・東アジア比較文化国際会議名誉会長が「東アジア文化の成熟」を講演。ほかに、波戸岡旭同会議日本会長・國學院大学教授、胡令遠同会議中国会長・復旦大学教授、崔溶澈同会議韓国会長・高麗大学教授による基調講演や、古典分野部門、近世・近代文学部門、宗教・神話・文化・思想部門、社会・民俗・芸術部門の四分科会に分かれての研究発表会などを実施。エクスカーションで、井上研究員と竹本研究員が引率講師を務める。

一〇月二六日 J R西日本ジパング倶楽部との連携企画特別ツアーで、井上研究員が「万葉の愛をうたう」と題して講演。

一〇月二九日 奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学 特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」（第五回）を講義。

一一月 三日 第八十回奈良県立万葉文化館友の会講座・「大和三

「山万葉ウォーク―畝傍山と橿原神宮周辺を巡る―」で、井上研究員が引率講師を務める。

二月五日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」（第五回）を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」（第六回）を講義。

二月六日 友の会共催「古事記をよむ」で、寺川所長が「三貴子の誕生と統治の事依」を講義。

二月七日 第二〇回東京講座として、東京都の奈良まほろば館で寺川眞知夫所長が「万葉集は歌の文化をどう変えたのか」を講演。

二月九日 奈良芸術短期大学主催の明日香学講座で、井上研究員が「明日香と万葉集―」と題して講演。

二月二日 奈良県立教育研究所製作の番組「なら教育リポートまなびだより」に、井上研究員が出演（奈良テレビにて一一月二四日に放送）。

二月二日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」（第六回）を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」（第七回）を講義。

一一月二四日 第一一回東京講座として、東京都の奈良まほろば館

で曹研究員が「万葉集にみる門前の恋」を講演。

第五回委託共同研究「万葉の深層を探るエスノアルケオロジー的研究―とくに海洋伝承を中心に―」（代表・後藤明南山大学教授）の第八回共同研究会を開催。

二月二五日 友の会共催「万葉集をよむ」で、竹本研究員が「巻二の世界（上）―一七―二二番歌」を講義。

二月二六日 奈良芸術短期大学主催の明日香学講座で、井上研究員が「明日香と万葉集―二―」と題して講演。

二月二九日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」（第七回）を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」（第八回）を講義。

二月二九日 第六回委託共同研究「『万葉集』と歌木簡―東アジアにおける詩歌の場と記録メディアの展開―」（代表・多田伊織皇學館大学講師・研究員）の第三回共同研究会を開催。

奈良県職員退職者会近畿第二十七回定期総会で、曹研究員が「歴史と万葉集」を講演。

二月三日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」（第八回）を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学

特別講義Ⅱ―日本古代史研究―(第九回)を講義。

二月 四日 第八十一回奈良県立万葉文化館友の会講座で、呉玲海外研修員が「万葉集における唐日交流―三六四〇番歌の作者羽粟について」を講義、その後、呉海外研修員と井上研究員による対談を実施。

二月 八日 檀原学院高等学校主催の檀学講座で、井上研究員が「万葉の心」と題して講演。

二月一〇日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」(第九回)を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」(第十回)を講義。

二月二一日 日本風景街道「まほろば」連絡協議会主催の勉強会で、井上研究員が「万葉集からみる飛鳥・藤原」と題して講義。

二月二四日 第九回記紀万葉プロジェクト推進チーム会議が奈良県庁にて開催され、井上研究員が出席。

二月二七日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」(第十回)を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」(第十一回)を講義。

二月二八日 第一二回東京講座として、東京都の奈良まほろば館

で竹本研究員が「万葉集をよみなおす―万葉古代学の一視点―」を講演。

万葉文化館ボランティア研修会において、井上研究員が「明日香と万葉集」を講義。

二月一九日 第五回委託共同研究「万葉の深層を探るエスノアルケオロジー的研究―とくに海洋伝承を中心に―」(代表・後藤明南山大学教授)の第九回共同研究会を開催。

二月二〇日 友の会共催「万葉集をよむ」で、曹研究員が「巻二の世界(上)―一三三―一二八番歌」を講義。

二月二四日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」(第十一回)を講義。

二月二六日 NHK奈良製作の番組に、中西進館長、上野誠副所長が出演。井上研究員が取材協力。(NHK「歴史秘話ヒストリア 万葉集く愛と悲しみの四〇〇年物語」平成二三年二月一六日放送)

二月二八日 藤井麻未研修員、大門敦子研修員が研修を修了。

一月 七日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」(第十二回)を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」(第十二回)を講義。

一月 九日 NHK奈良製作の番組に、研究員が撮影協力。(N

H K 「歴史秘話ヒストリア」二月一六日放送)

一月二四日 呉玲海外研修員の研修報告会を実施。

一月二五日 友の会共催「古事記をよむ」で、寺川所長が「須佐之男命の昇天とウケヒ」を講義。

一月二八日 高森町歴史民俗資料館主催の研修において、竹本研究員が飛鳥池工房遺跡について解説。

一月一九日 奈良県立大学主催「やまとまほろば学」講座において、井上研究員が「奈良の文化―万葉の世界―」と題して講義。

一月二二日 奈良県立医科大学において、寺川眞知夫所長が「古代知識人の病気観」と題して特別講義の講師を務める。

奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の文学と奈良文化」(第十三回)を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」(第十三回)を講義。

一月二三日 美夫君志会において、井上研究員が「万葉集の宮都歌」と題するシンポジウムのパネリストを務める。

一月二四日 友の会共催「万葉文化をよむ」で、井上研究員が「巻二の世界(上)―二九―一三〇番歌」を講義。

一月二七日 呉玲海外研修員が中国に帰国。

一月二八日 奈良県立医科大学において、井上研究員が「万葉の

文学と奈良文化」(第十四回)を講義。

奈良県立大学において、竹本研究員が「地域創造学特別講義Ⅱ―日本古代史研究―」(第十四回)を講義。

一月二九日 日本風景街道「まほろば」連絡協議会主催の勉強会現地調査で、井上研究員が引率講師を務める。

一月三〇日 N H K 奈良製作の番組に、研究員が撮影協力。(N H K 「歴史秘話ヒストリア」二月一六日放送)

◆専任研究員のおもな業績（平成二十二年二月～平成二十三年一月）

井上さやか

〔著書〕

○『山部赤人と叙景』新典社研究叢書214（新典社）平成二十二年十月

〔研究論文〕

○『万葉集』と欧文挿絵本―その今日的意義について―（『万葉古代学研究所年報』八号）平成二十二年三月

○「雪とよごと―大伴家持の巻二〇・四五一六番歌―」（『叙説』三七号）平成二十二年三月

〔研究発表〕

○シンポジウム「万葉集の宮都歌」（美夫君志会）平成二十三年一月

〔その他〕

○連載「教育の話題／万葉の旅」（『日本教育』平成二十二年四月・五月号～平成二十三年一月号）平成二十二年四月～平成二十三年一月

○「おすすめ万葉歌」（『よろずは』第二七号～第三一号、平成二十二年四月～平成二十三年一月）

竹本 晃

〔研究論文・書評〕

○「安礼衝」と永続性―藤原宮御井歌と短歌をつなぐもの―（『万葉古代学研究所年報』八号）、平成二十二年三月

○「古代人名表記の「連公」をめぐって」（米原永遠男編『日本

古代の王権と社会』塙書房）平成二十二年十月

○「書評」中村友一著『日本古代の氏姓制』（『日本史研究』第五八〇号）、平成二十二年二月

〔研究発表〕

○「平安前期における和泉国の官田」（第二次和泉郡研究会）平成二十二年二月

〔その他〕

○NHK「日本と朝鮮半島2000年」プロジェクト編『日本と朝鮮半島2000年上』（NHK出版）、平成二十二年二月に一部執筆（コメント）。

○「万葉学者のあるべき姿」（友の会会報「天飛ぶ」第二十八号）「万葉歌の魅力をさぐる②」、平成二十二年十一月

○展示内容紹介（『よろずは』第二八号・平成二十二年六月、第三〇号・平成二十二年十月）

曹 咏梅

〔著書〕

○『歌垣と東アジアの古代歌謡』（笠間書院）平成二十三年一月
〔研究論文〕

○「万葉集巻頭歌の形成―中国採桑文学との比較―」（『万葉古代
学研究所年報』八号）平成二十二年三月

〔その他〕

○展示内容紹介（「よろずは」第二七号・平成二十二年四月、第
二九号・平成二十二年九月、第三一号・平成二十三年一月）